

あわつと感染症情報(2026-40)

千葉県安房保健所発
2026年10月9日配信

★今週のトピックス★

千葉県で麻しん(はしか)患者の発生がありました！

千葉市在住の0歳の女児が麻しんと診断され、市内医療機関から千葉市保健所に麻しんの発生届がありました。

調査の結果、感染可能期間に不特定多数の方が利用する公共交通機関等を利用していたことが判明しました。

現在、国内で麻しんの患者が増えていますので、予防接種の実施等、感染予防に努めてください。

<参考>・麻しん患者の発生について(千葉県) https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/kenkokikikanri/documents/20261007_masin_press.pdf
・麻しんについて(厚生労働省) https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html

千葉県で日本脳炎患者の発生がありました！



発症後、印旛保健所管内の医療機関に入院し、原因となる病原体の検査を実施していた患者について、9月25日に日本脳炎と診断され、印旛保健所に患者発生の届出がありました。

印旛保健所が疫学調査を実施したものの、発生時の状況を聞き取ることができないまま死亡したため、感染地域は現時点で不明です。

日本脳炎ウイルスを保有する蚊(コガタアカイエカ)を介して感染します。蚊の活動時期は、秋ごろまで続きますので、肌の露出を控える、虫除け剤を使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう。

日本脳炎ワクチンを接種することでリスクを75%から95%軽減することができると報告されています。定期接種の対象者の方は、日本脳炎ワクチンの積極的な接種をお願いします。

<参考>・[日本脳炎]感染症予防のための情報提供について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/press/2026/2026nihonnouen.html>
・日本脳炎ワクチン(厚生労働省) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/japanese-encephalitis/index.html

★安房管内の感染症発生状況★

激増	増加	増減なし	減少

感染症名		定点医療機関当たりの報告数(人)		前週との比較	
		第40週	第39週		
新型コロナウイルス感染症	安房	1.33	1.17	増加	
	千葉県	1.81	1.35	増加	
<参考>・新型コロナウイルス感染症について(千葉県) https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html					
インフルエンザ	安房	8.33	2.17	激増	
	千葉県	18.72	9.76	激増	
<参考>インフルエンザから身を守る(千葉県) https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influenza-yobou.html インフルエンザ注意報の発令について(千葉県) https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/press/2026/influ-chuiho2026.html					

注意報発令

手洗い・消毒・咳エチケットを徹底しましょう！

感染症名		定点医療機関当たりの 報告数 (人)		前週との比較	
		第40週	第39週		
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	安房	1.75	0.50	増加	
	千葉県	1.50	0.90	増加	
<参考>・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎(厚生労働省) https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-17.html					

❀ 安 房 管 内 の 全 数 届 出 疾 患 ❀

全ての医師の方は、対象の感染症の診断を行った際に、最寄りの保健所に届け出る必要があります。

<2 類感染症>

★結核 2件

結核とは、結核菌を出している人のせきやくしゃみなどの「しぶき」と一緒に、結核菌が空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことで人から人にうつります。

結核に感染しても、すべての人が発病するわけではありません。発病するのは、感染した人の1～2割といわれています。持病などで免疫力が低下している場合などは、発病しやすくなります。

発病すると、結核菌が体の中で増殖し、せき、たん、発熱などの症状が現れます。

<参考>・結核について(結核予防会) https://www.jatahq.org/about_tb/

<4類感染症>

★日本紅斑熱 5件

日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニに刺されることで感染するダニ媒介感染症です。

マダニに刺されてから、2日から8日程度の潜伏期間を経て発症します。主な症状は、発熱、発疹、マダニの刺し口にできる痂皮です。診断が遅れると、重症化することがあるため注意が必要とされています。

★レジオネラ症 2件

レジオネラ症は、主にレジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(細かい霧やしぶき)の吸入などによって、細菌が感染して発症します。レジオネラ属菌はヒトからヒトへ感染することはありません。

レジオネラ属菌は環境細菌であり、土壌、河川、湖沼などの自然環境に生息しており、一般にその菌数は少ないと考えられますが、人工の施設や設備の中で増殖すると、感染によりレジオネラ症を発症するリスクがあります。日頃から施設や設備の衛生管理が必要となります。

<参考>・日本紅斑熱について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/eiseikenkyuu/virus/madani.html>

・レジオネラ症(千葉県) https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00393.html

<5類感染症>

★侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件

インフルエンザ菌による侵襲性感染症(本来無菌環境である部位から起因菌が分離された感染症)のうち、この菌が髄液又は血液から検出された感染症です。

感染経路は、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌による感染(飛まつ感染)です。感染したとしても必ず発症するわけではありません。

有効な予防法は予防接種です。Hib(インフルエンザ菌b型)ワクチンは定期接種です。

<参考>

・侵襲性インフルエンザ菌感染症(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-44.html>

【配信元】

千葉県安房保健所(安房健康福祉センター)

あわつと感染症情報

awat-news@mz.pref.chiba.lg.jp